

1.タイトル	木材の不思議な世界～さまざまな木材を見てみよう～		
2.ねらい (目的)	1、学習者が体験を通じて、木材の性質や構造をわかりやすく学ぶ木育につなげる。 2、身近な木材をきっかけに、学習者が木材や木への興味や関心を高める。 3、る森林総研の研究成果の普及、広報につなげる。		
3. 対 象 年 齢 内 容 所要時間	小学高学年以上、中・高・一般向け (小学校低学年は教員の実演のみ)	(室内)	30～70分程度
4.道具、準備	プログラム1: 割り箸(5種類)、ワークシート プログラム2: 木材サンプル(5種類)、さいばし、メスシリンダー、みずさし、バット、ワークシート プログラム3: 木のしくみ教材(A4紙、ヒノキ・ケヤキ)、はさみ、ワークシート		
5.プログラム 時間	内 容		備 考
準備	会場設営 時間次第で教材1,2,3 を単独で実施も可能。	<準備, 片付け: 補助者> テーブル, 椅子 実験道具(教材の箱) (割り箸、メスシリンダー・菜箸・材・トレイ・水さし) (木材構造キット・はさみ)	<実施上の注意>
導入 (5分)	学習内容への導入		
実習 (5分)	実習内容の説明	身近な木に興味を持つ。 立っている木と木材の繋がりを理解する。	
実習1 (15分)	身近な木～割り箸のいろいろ わりばしを見比べて、同じ種類のもの 違いを確認させ、ワークシートに記入。	配布: ワークシート 道具: わりばし6種類のセット	* 指導者が発問しながら ワークシートへ記入させる。
解説	解説: 木材の話(カーボンニュートラル)	道具類の回収	
実習2 (15分)	いろいろな木の比重 木材サンプルを見て、質や固さの違い を確認する。 予想をさせながら、順に水に浮かべる。	配布: ワークシート 道具: メスシリンダー・菜箸・材・トレイ・水さし、ハ	* 水を用意する。 * 周りを水で濡らさぬよう注意 * 遊びだけにならないように
解説	解説: なぜ木の重さが違うのか。	道具類の回収	
実習3 (20分)	木のしくみ 針葉樹と広葉樹の木のしくみ教材で サイコロを1つ(2つ)作る	配布: ワークシート 道具: 木のしくみ教材・はさみ	* はさみの使い方に注意。
解説	解説: 針葉樹と広葉樹の構造の違い。	道具類の回収	
まとめ (10分)	どんなことがわかったか		
終了			
6.注意事項	1、専門的な話はわかりやすく伝える。 2、なるべく参加者の輪に入って、雰囲気作りを心がける。 3、体験を通して楽しく学ばせながらも、道具類はきちんと片付け、ふりかえりも行う。		